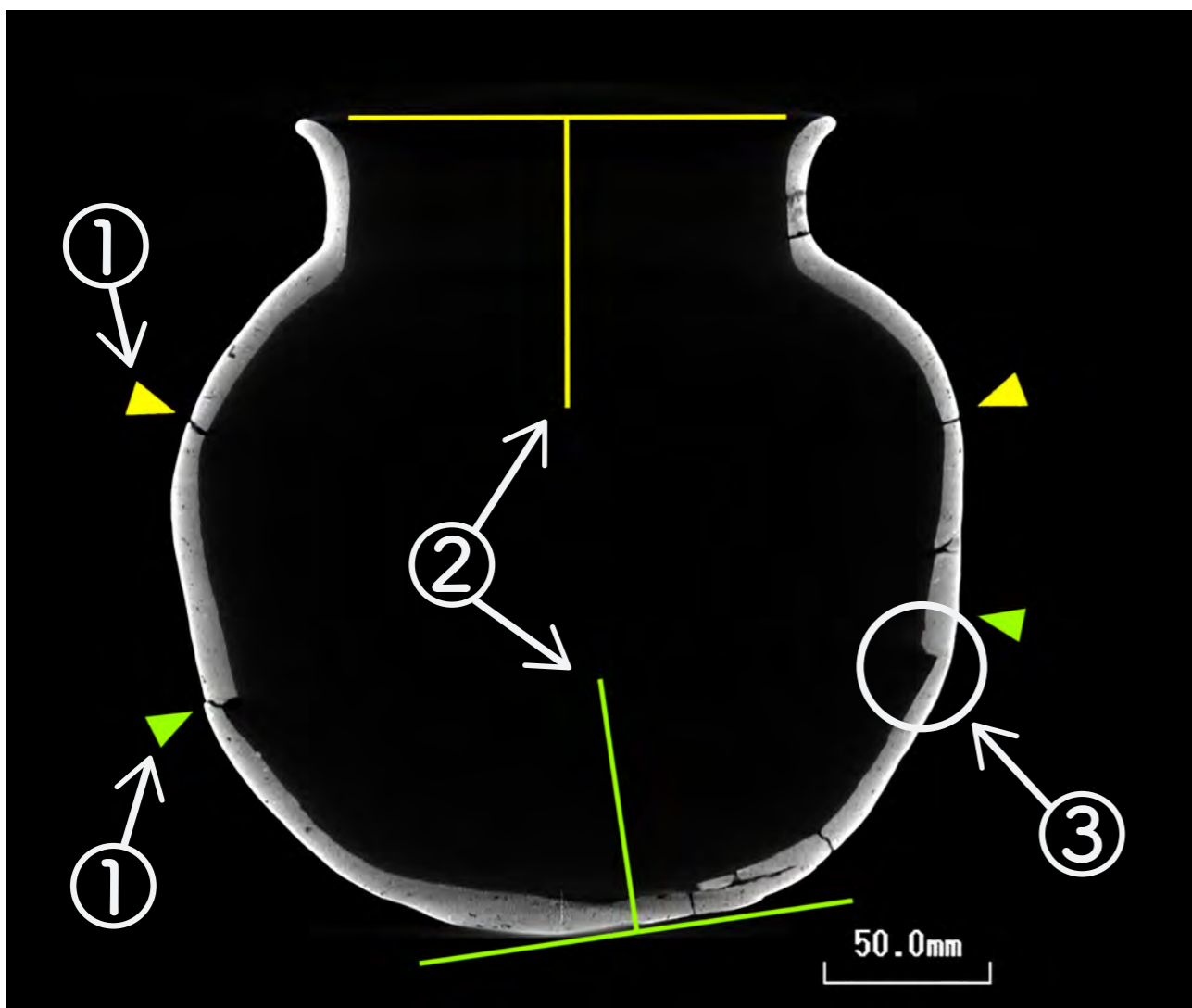


分割整形技法を示す特徴

展示遺物を観察してみると、上下・もしくは上中下の各部を別々に作り、後で接合するという分割整形技法の特徴がそこかしこに現れているのがわかる。ここではCTスキャンによる断面図をもとに紹介する。



展示遺物 CT スキャン画像

- ① 各パーツを継いだ部分は弱いため、そこで割れている。
- ② 別々に作ったために、口の部分と底の部分で中心軸がずれている。
- ③ 真ん中の部分と底の部分で器の厚さが違う。

結合した際には厚さの違いを埋めるために粘土を充填していたが、接着が弱いために剥がれてしまっている。



接合部の粘土充填模式図
(アミカケが充填した粘土)

分割整形技法による土器製作工程模式図

